

2011年度

科目名	日本文化史A				
担当教員	阪田 宗彦				
配当	文 2・教育2・人間2		コード	22043	
開期	前期	講時	火曜日2限	単位数	2
授業テーマ	正倉院宝物				
目的と概要	正倉院宝物がもつその由緒と特質及び現状について詳述し、7・8世紀の東西交渉史の一端を理解し、改めて21世紀の東アジア文化史のなかでの位置付けを考えてみようとするものです。スライド・ビデオを常時使用。				
成績評価法	レポート等(70%)・平常点(30%)で評価します。時には小テストを行うこともあります。				
テキスト	使用しない。必要な参考文献は明示する。				
参考書	使用しない。				
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	近年出版された和田軍一『正倉院案内』(1996、吉川弘文館)を読んでおくこと本講の理解に役立つと思いま す。				
講義計画					
○ 正倉院宝物 1. 序章 2. 名称「正倉院」 3. 国宝建造物「正倉院宝庫校倉」 4. 奈良朝の政争と遷都 5. ゆらぐ聖武政権と国分寺造営の詔 6. 盧舎那仏造営の詔 7. 東大寺大仏開眼 8. 聖武帝の崩御と七七忌の献物 9. 献物と献物目録 10. 第1回の献物目録「国家珍宝帳」の内容構成 11. 献物第1号「御袈裟九領」 12. 同第2号「赤漆文欄木厨子とその内容品」 13. 北倉納物にみる帳内御物 14. 宝物の由緒 15. まとめ					